

グローバル・コミュニケーション系専門職大学院認証評価

点 検 ・ 評 価 報 告 書

<申請大学用（様式例）>

専門職大学院名称 : ○ ○ ○ ○ 大学大学院
○ ○ ○ ○ 研究科 ○ ○ ○ ○ 専攻

点検・評価報告書を作成する際の注意事項

序章

- ・点検・評価の体制等について記述すること。

本章

<現状の説明>

- ・「グローバル・コミュニケーション系専門職大学院基準」（資料1）の各「評価の視点」を確認し、その結果を点検・評価報告書として「本文」の趣旨に沿って取りまとめること。その際、評価委員が読んで、当該大学院の状況がある程度、具体的なイメージを持って把握し、評価できるか、ということを念頭におき、各視点について根拠等を盛り込んだ記述にすること。
- ・記述にあたっては、その論拠を明確にするため可能な限り客観的なデータ（数値）を記すこと。なお、基礎データの数値を用いる場合、その数値と齟齬がないように注意すること。
- ・現状の説明の根拠となる資料、参照すべき資料がある場合には、<根拠資料>名と該当ページを記すこと。

<点検・評価（長所と問題点）>

- ・8つの評価項目ごとに、点検・評価の結果明らかになった「長所」や「問題点」などについてできるだけ具体的に記述すること。
- ・根拠となる資料、参照すべき資料がある場合には、資料名と資料番号、該当ページ数を記すこと。

<将来への取り組み・まとめ>

- ・「長所」については、その更なる伸長のための、また、「問題点」については、改善していくための取り組みや今後の方策を記述すること。
- ・抽象的な表現や単なる決意の表明に終わることなく、固有目的の達成のための手法や手続、その実施に要する期間等を可能な限り具体的に記述すること。

終章

- ・全体を通して、点検・評価を行った結果、当該大学院が考える今後の展望と、今後取り組むべき課題について記述すること。
- ・本章の記述と重複してもかまわない。

序 章

- (1) これまでの自己点検・評価活動、前回の認証評価の結果を受けて講じた改善・改革活動の概要等

本章

1 使命・目的

項目 1：目的の設定及び適切性（評価の視点 1-1～1-4）

<現状の説明>

<根拠資料>

- ・添付資料 2-1：「〇〇大学大学院〇〇研究科規則」（第〇条）
- ・添付資料 2-2：「〇〇大学大学院〇〇研究科便覧」（〇～〇頁）

項目 2：目的の周知（評価の視点 1-5～1-6）

<現状の説明>

<根拠資料>

- ・添付資料 2-1：「〇〇大学大学院〇〇研究科規則」（第〇条）
- ・添付資料 2-2：「〇〇大学大学院〇〇研究科便覧」（〇～〇頁）

【1 使命・目的（項目 1～2）の点検・評価（長所と問題点）】

【1 使命・目的（項目 1～2）の将来への取り組み・まとめ】

2 教育内容・方法・成果

(1) 教育課程・教育内容

項目3：教育課程の編成（評価の視点 2-1～2-4）

<現状の説明>

<根拠資料>

- ・添付資料 2-1：「〇〇大学大学院〇〇研究科規則」（第〇条）
- ・添付資料 2-2：「〇〇大学大学院〇〇研究科便覧」（〇～〇頁）

項目4：単位の認定、課程の修了等（評価の視点 2-5～2-12）

<現状の説明>

<根拠資料>

- ・添付資料 2-1：「〇〇大学大学院〇〇研究科規則」（第〇条）
 - ・添付資料 2-2：「〇〇大学大学院〇〇研究科便覧」（〇～〇頁）
-

(2) 教育方法

項目5：履修指導、学習相談（評価の視点 2-13～2-15）

<現状の説明>

<根拠資料>

- ・
- ・

項目6：授業の方法等（2-16～2-20）

<現状の説明>

<根拠資料>

- ・
- ・

項目7：授業計画、シラバス（評価の視点 2-21～2-23）

<現状の説明>

<根拠資料>

- ・
- ・

項目8：成績評価（評価の視点 2-24～2-26）

<現状の説明>

<根拠資料>

-
-

項目 9 : 改善のための組織的な研修等 (評価の視点 2-27~2-30)

< 現状の説明 >

< 根拠資料 >

- -
-

(3) 成果

項目 10：修了生の進路状況の把握・公表、教育効果の評価の活用（評価の視点 2-31～2-32）

<現状の説明>

<根拠資料>

- ・
- ・

【2 教育内容・方法・成果（項目 3～10）の点検・評価（長所と問題点）】

【2 教育内容・方法・成果（項目 3～10）の将来への取り組み・まとめ】

3 教員・教員組織

項目 11：専任教員数、構成等（評価の視点 3-1～3-10）

<現状の説明>

<根拠資料>

- ・
- ・

項目 12：教員の募集・任免・昇格（評価の視点 3-11～3-12）

<現状の説明>

<根拠資料>

- ・
- ・

項目 13：専任教員の教育研究活動等の評価（評価の視点 3-13～3-14）

<現状の説明>

<根拠資料>

- ・
- ・

【3 教員・教員組織（項目 11～13）の点検・評価（長所と問題点）】

【3 教員・教員組織（項目 11～13）の将来への取り組み・まとめ】

4 学生の受け入れ

項目 14：学生の受け入れ方針、入学者選抜の実施体制及び定員管理（評価の視点 4-1～4-8）

<現状の説明>

<根拠資料>

- ・
- ・

【4 学生の受け入れ（項目 14）の点検・評価（長所と問題点）】

【4 学生の受け入れ（項目 14）の将来への取り組み・まとめ】

5 学生支援

項目 15：学生支援（評価の視点 5-1～5-8）

<現状の説明>

<根拠資料>

- ・
- ・

【5 学生支援（項目 15）の点検・評価（長所と問題点）】

【5 学生支援（項目 15）の将来への取り組み・まとめ】

6 教育研究等環境

項目 16：施設・設備、人的支援体制の整備（評価の視点 6-1～6-6）

<現状の説明>

<根拠資料>

- ・
- ・

項目 17：図書資料等の整備（評価の視点 6-7～6-9）

<現状の説明>

<根拠資料>

- ・
- ・

項目 18：専任教員の教育研究環境の整備（評価の視点 6-10～6-12）

<現状の説明>

<根拠資料>

- ・
- ・

【6 教育研究等環境（項目 16～18）の点検・評価（長所と問題点）】

【6 教育研究等環境（項目 16～18）の将来への取り組み・まとめ】

7 管理運営

項目 19：管理運営体制の整備、関係組織等との連携（評価の視点 7-1～7-5）

<現状の説明>

<根拠資料>

- ・
- ・

項目 20：事務組織（評価の視点 7-6～7-8）

<現状の説明>

<根拠資料>

- ・
- ・

【7 管理運営（項目 19～20）の点検・評価（長所と問題点）】

【7 管理運営（項目 19～20）の将来への取り組み・まとめ】

8 点検・評価、情報公開

項目 21：自己点検・評価（評価の視点 8-1～8-5）

<現状の説明>

<根拠資料>

- ・
- ・

項目 22：情報公開（評価の視点 8-6～8-9）

<現状の説明>

<根拠資料>

- ・
- ・

【8 点検・評価、情報公開（項目 21～22）の点検・評価（長所と問題点）】

【8 点検・評価、情報公開（項目 21～22）の将来への取り組み・まとめ】

終 章

(1) 自己点検・評価を振り返って

(2) 今後の改善方策、計画等について